

英国金融政策（2025年11月）

2会合連続で政策金利を4%に据え置き

2025年11月7日

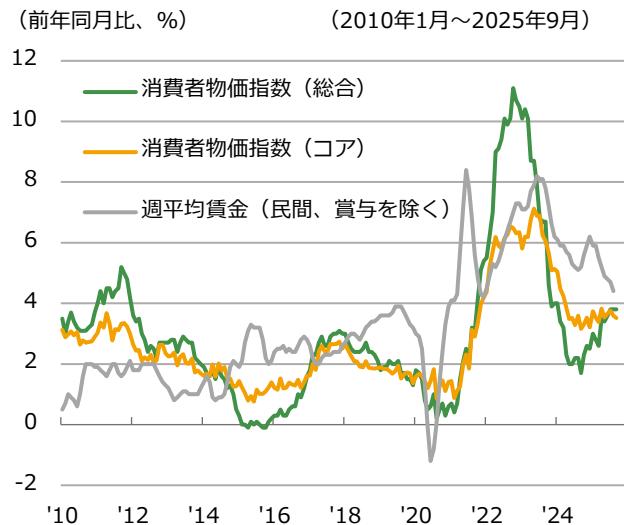
票決は5対4の僅差、予算案と賃金・物価指標次第で12月に利下げへ

BOE（イングランド銀行）は11月5日（現地、以下同じ）に終了した金融政策委員会で、政策金利を4%に据え置く決定をし、6日に発表しました。昨年8月の利下げ開始以降、四半期ごとに利下げを実施していましたが、そのパターンが崩れたことになります。直前の市場の利下げの織り込みは4分の1程度であったため、おおむね市場予想通りの結果と言えますが、利下げ見送りを受けてポンド高に振れています。

票決は5対4の僅差でした。高インフレが持続するリスクを警戒し政策金利の据え置きを主張する委員と、ディスインフレが定着しているとの判断の下、特に家計部門の弱さから、景気、物価の下振れリスクを警戒し利下げを主張する委員とで、意見が真っ二つに分かれました。最終的には、ベイリー総裁に決定が委ねられた格好です。ベイリー総裁は、下振れリスクの可能性の方が高いとしつつも、今利下げをするよりは年内の経済動向でディスインフレの持続性を確認できるか様子を見たいと結論付けました。

今回の決定は2つの鍵となる判断に基づくとしています。①基調的な賃金・物価は鈍化し続けており、リスクは全体としてより均衡している、②仮にディスインフレが続くなら、政策金利は緩やかな低下基調を辿る公算が大きいとの2つで、これらは委員会として共有されています。その上で当社は、12月の金融政策委員会までに発表される来年度の予算案、並びに2カ月分の賃金・物価指標が、いずれもディスインフレの持続性を裏付ける内容になると予想し、BOEは12月に利下げを決定する可能性が高いと考えます。

■ 英国の消費者物価指数



■ 英国の金利と為替



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指標・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。